

製品名: TCF7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82928**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	41.6kDa

抗原情報

遺伝子名	TCF7
別名	TCF-1
遺伝子 ID	6932.0
SwissProt ID	P36402
免疫原	大腸菌で発現したヒト TCF7 (AA: 168-358) の精製された組み換え断片。

背景

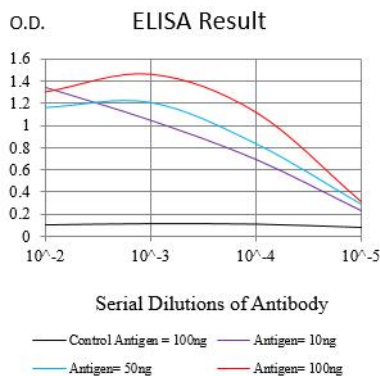
この遺伝子は、高移動度グループ（HMG）ボックス転写活性化因子である T 細胞因子 / リンパ系エンハンサー結合因子ファミリーのメンバーをコードしています。この遺伝子は主に T 細胞で発現し、ナチュラルキラー細胞および自然リンパ系細胞の発達において重

要な役割を果たします。コードされているタンパク質は β -カテニンと複合体を形成し、Wnt/ β -カテニンシグナル伝達経路を介して転写を活性化します。この遺伝子をノックアウトしたマウスは生存および繁殖能力は維持されますが、Tリンパ球分化が阻害されます。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。N末端 β -カテニン相互作用ドメインを欠損する天然に存在するアイソフォームは、Wntシグナル伝達の優性負性制御因子として機能する可能性があります。

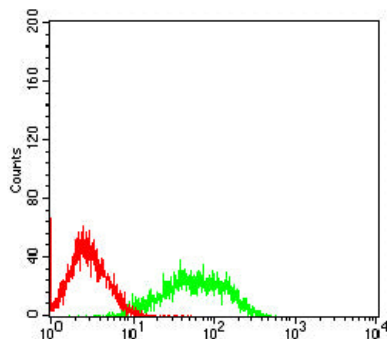
研究分野

Wntシグナル伝達経路、Hippoシグナル伝達経路

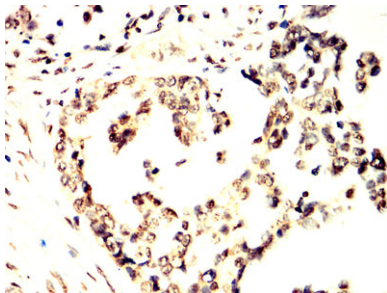
画像データ



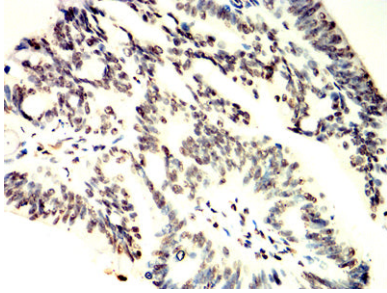
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



TCF7 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



TCF7 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



TCF7 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。